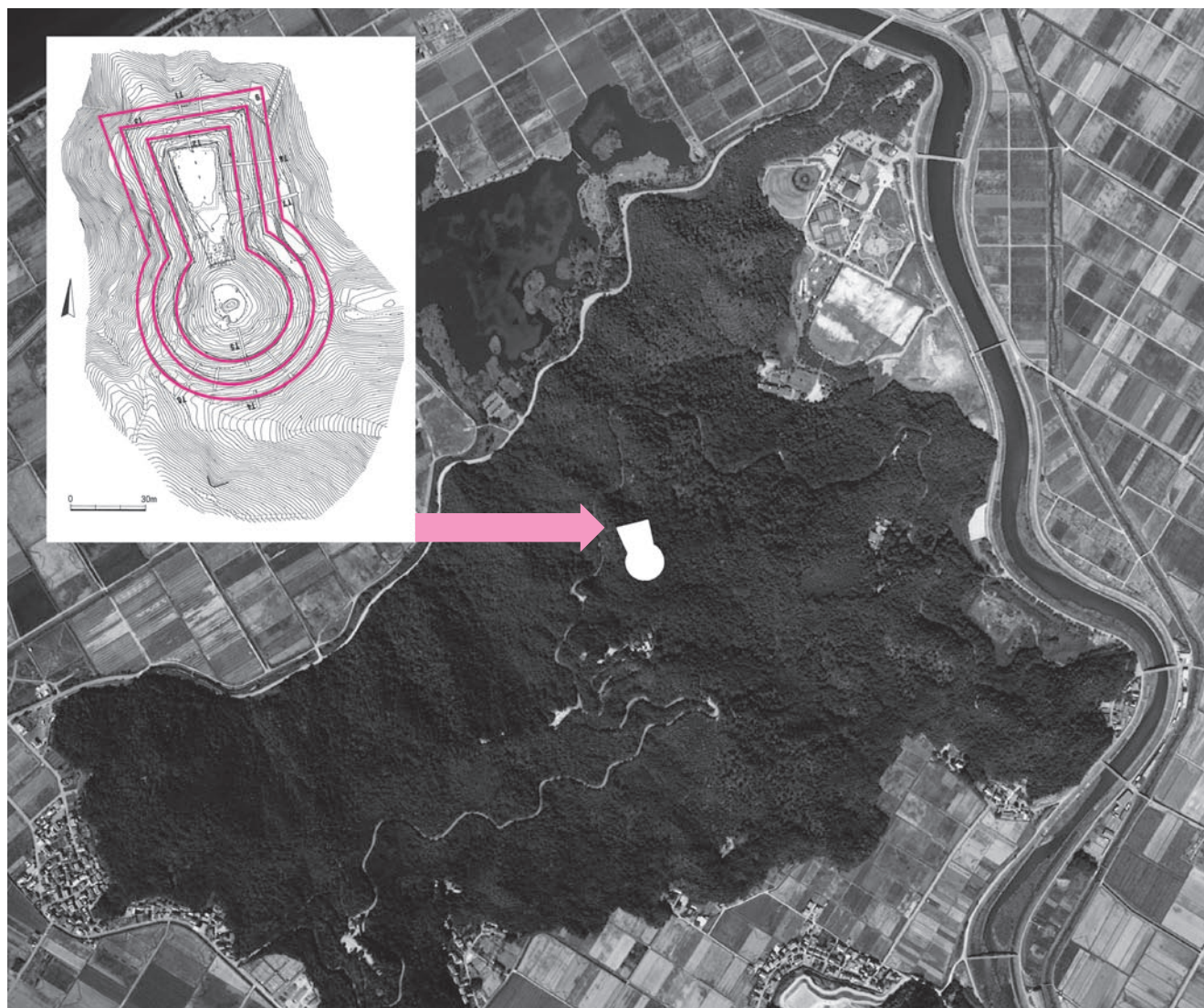




広報

ひこね

2010 12/1



▲国の史跡指定を受けることになった「荒神山古墳」

特集 彦根市の財政 平成21年度の使い道をお知らせします

10	今年の受賞者をお知らせします 舟橋聖一顕彰文学賞・舟橋聖一文学賞	17	12月3日～9日は 障害者週間です
13	あなたの声を市政に 市政への意見・提言	22	ひろげるな インフルエンザ ひろげよう せきエチケット
16	12月4日～10日は 人権週間です	24	清掃センターからのお知らせ 年末のごみ等収集と直接搬入

- 1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
- 2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
- 3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
- 4. 明日の彦根市を担う人を育むまちづくり
- 5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

用語の説明

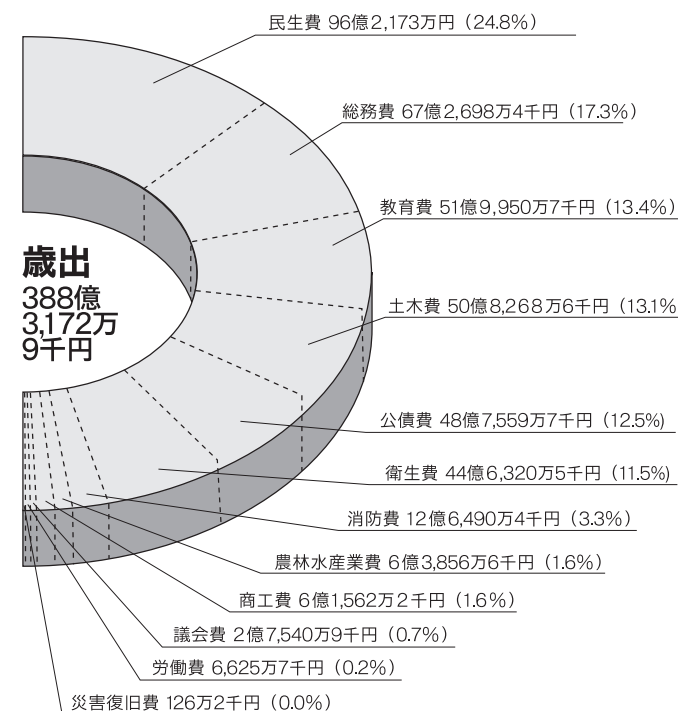
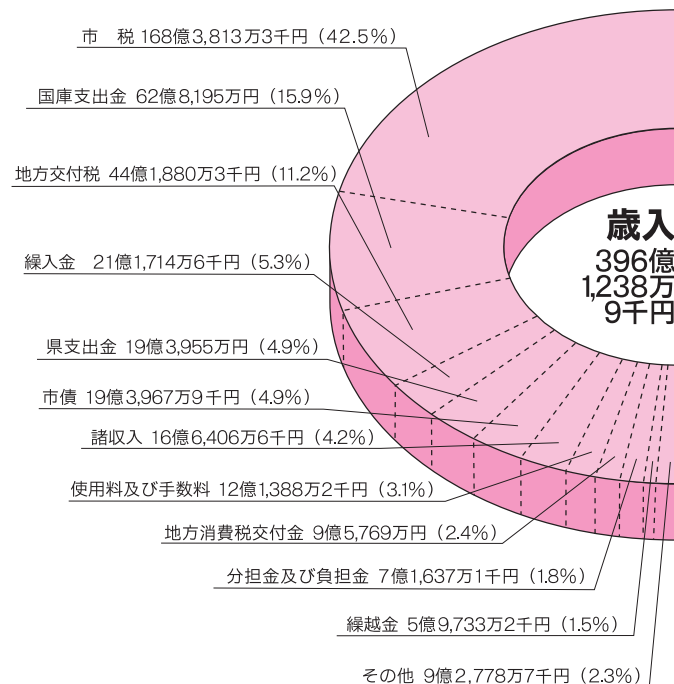
【歳入】

市 税：皆さんが市に納めた税金
国庫支出金：特定の目的の財源として国から交付されたお金（補助金など）
地方交付税：所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて国から交付されたお金
繰入金：特定の目的のために積み立てているお金を使うために取り崩したお金
県支出金：特定の目的の財源として県から交付されたお金（補助金など）
市 債：大きな事業を行うために国などから借り入れたお金
《一般会計市債現在高 324億8,407万8千円》
諸収入：ほかの収入科目に含まれない収入（預金利子など）
使用料及び手数料：市の施設の使用料や住民票をはじめとする証明書などの交付にかかる手数料
地方消費税交付金：県が徴収した地方消費税の一部から市へ交付されたお金
分担金及び負担金：市が行う事業によって特に利益を受ける人や団体が納めたお金
繰越金：前年度から繰り越されたお金

【歳出】

民生費：福祉の充実などに使われたお金
総務費：市税、選挙、戸籍の事務や市の発展のための計画を作るために使われたお金
教育費：小・中学校などの教育や文化、スポーツの振興に使われたお金
土木費：道路や橋、公園などの施設の整備などに使われたお金
公債費：大きな事業を行うためなどに借りたお金の返済に支払われたお金
衛生費：健康診断や予防接種、ごみの収集・処理などに使われたお金
消防費：市民の安全を守るため、消防や防災対策に使われたお金
農林水産業費：農林水産業の振興に使われたお金
商工費：商工業や観光の振興に使われたお金
議会費：市議会を運営するために使われたお金
労働費：働く人たちの福祉などに使われたお金
災害復旧費：自然災害による被害の復旧に使われたお金

一 般 会 計



昨年度、彦根市はどのように収入を得て、何に使ったのでしょうか。平成21年度決算がまとまりましたのでお知らせします。平成21年度の一般会計の決算額は、歳入が396億1,238万9千円、歳出が388億3,172万9千円となり、前年度と比べて、歳入で10・9%

の増加、歳出で10・5%の増加となりました。内訳は左のグラフのとおり、また、特別会計・企業会計は3ページの表のとおりとなりました。
問い合わせ先 市財政課 ☎ 301-6107 番、FAX 22-11398 番

平成21年度の使い道をお知らせします

報告 彦根市の財政

平成21年度に取り組んだ主な事業

- ◆井伊直弼と開国150年祭の開催に対する実行委員会への補助や、新型インフルエンザへの予防対策のため、出前講座などによる普及啓発を行いました。また、市内63公共施設に緊急地震速報システムの設置や分散型備蓄を図るため西沼波町に新たな備蓄倉庫の建築を実施しました。
- ◆愛荘町、豊郷町、甲良町および多賀町と定住自立圏構想の先行実施
団体として、湖東定住自立圏形成協定を締結し、圏域の活性化につながる事業を記載した湖東定住自立圏共生ビジョンを策定しました。
- ◆認知症高齢者グループホームなどの開設補助や、重症心身障害者通園施設の新設に伴う補助を行いました。また、新型インフルエンザ対策として、市内すべての保育園に空気清浄機、エアータオルや消毒液の設置を実施しました。
- ◆農地・農業用水などの保全向上を目指した共同活動や、環境保全に向けての先進的営農活動への支援を実施したほか、神上沼地区の水草（外来種）駆除を行いました。
- ◆市内経済の活性化や雇用創出を図るため、「ひこねプレミアム商品券」の発行や住宅リフォーム促進補助などの事業を実施しました。
- ◆公共交通機関の空白地域や路線バスの利用が少ない地域である河瀬地区で、新たにデマンドタクシーを試行的に導入し、有効性を実証する事業を実施しました。
- ◆耐震基準に満たない西中学校の耐震補強や各小学校的LAN整備など、情報通信技術環境の整備を実施しました。また、生徒数増加に対応するため、高宮小学校の校舎増築事業や東中学校の校舎などの改築事業に取り組みました。



特 別 会 計

会 計 名	歳 入 額	歳 出 額
国 民 健 康 保 険 事 業	89億2,894万9千円	89億2,430万8千円
住宅新築ならびに改修資金貸付事業	1億2,546万9千円	1億2,546万9千円
下 水 道 事 業	69億165万3千円	67億3,916万6千円
休日急病診療所事業	8,264万7千円	6,127万9千円
老 人 保 健 事 業	5,556万6千円	5,497万3千円
農 業 集 落 排 水 事 業	2億8,030万6千円	2億8,030万6千円
介 護 保 険 事 業	54億2,496万8千円	54億2,034万1千円
後期高齢者医療事業	8億5,466万円	8億3,962万2千円

企 業 会 計

会 計 名	収 入 額	支 出 額
病 院 事 業	86億9,915万2千円	89億1,618万7千円
水 道 事 業	20億1,808万4千円	18億3,846万9千円

行政コスト計算書

彦根市が提供する経常的な行政サービスに要した費用（コスト）と受益者負担である使用料などの収入を表します

各項目の数値は、上段：総額、中段：市民一人あたりの金額、下段：構成比

経常行政コスト	項 目	普通会計	連 結
	○人にかかるコスト 議員、委員等報酬および職員給など	67億7,239万円 6万1,858円 21.0%	123億6,269万円 11万2,920円 19.0%
	○物にかかるコスト 光熱水費、委託料、施設の運営管理費など	83億8,022万円 7万6,544円 26.0%	161億5,205万円 14万7,532円 24.8%
	○移転支出的なコスト 補助金や社会保障給付、特別会計への繰出金など	164億784万円 14万9,868円 50.8%	330億5,282万円 30万1,902円 50.8%
	○その他のコスト 公債費の利子など	7億2,559万円 6,628円 2.2%	35億1,209万円 3万2,078円 5.4%
	経常行政コスト合計（A）	322億8,604万円 29万4,898円 100.0%	650億7,965万円 59万4,432円 100.0%
経常収益	項 目	普通会計	連 結
	○使用料・手数料、分担金・負担金・寄附金	21億9,796万円 2万76円 100.0%	116億788万円 10万6,025円 42.6%
	○保険料 国民健康保険料・介護保険料など	—	39億8,612万円 3万6,410円 14.6%
	○事業収益 病院事業収益、下水道使用料など	—	114億862万円 10万4,205円 41.8%
	○その他特定行政サービス収入	—	2億8,331万円 2,588円 1.0%
	経常収益合計（B）	21億9,796万円 2万76円 100.0%	272億8,593万円 24万9,228円 100.0%
純経常行政コスト（A）－（B）		300億8,808万円 27万4,822円	377億9,372万円 34万5,204円

行政コスト計算書から分かったこと

●経常行政コスト

◆普通会計の経常行政コストは、職員数の減少などにより人にかかるコストは前年度から2億2,723万円減少（市民1人あたり2,196円減少）していますが、社会保障給付などの増加により全体では23億4,664万円増加（市民1人あたり20,919円増加）しています。

◆連結は、普通会計の約2倍で、その差額は327億9,361万円（主なも

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部（今までの世代が負担してきた部分）の変動について、1年間にどのような増減があったかを表します

項 目	普通会計	連 結
①期首純資産残高（平成20年度貸借対照表の純資産合計）	1,125億7,767万円	1,413億3,481万円
②純経常行政コスト	△300億8,808万円	△377億9,372万円
③一般財源	236億6,152万円	236億6,267万円
④補助金等受入（国庫支出金、県支出金）	82億4,161万円	165億3,023万円
⑤その他（上記以外の理由による増減）	9,841万円	2億3,210万円
期末純資産残高（平成21年度貸借対照表の純資産合計①～⑤の計）	1,144億9,113万円	1,439億6,609万円

資金収支計算書

行政活動における資金（現金）の増減内訳を表します

項 目	普通会計	連 結
(1)経常的収支	97億237万円	96億1,366万円
支出（人件費・社会保障給付など）	259億3,362万円	576億6,517万円
収入（地方税・国県補助金など）	356億3,599万円	672億7,883万円
(2)公共資産整備収支	△17億3,394万円	△18億7,046万円
支出（公共資産整備支出など）	40億1,164万円	55億5,642万円
収入（国県補助金・地方債など）	22億2,770万円	36億8,596万円
(3)投資・財務的収支	△76億1,700万円	△79億6,449万円
支出（貸付金・地方債償還額など）	87億5,379万円	107億3,126万円
収入（貸付金回収額・地方債発行額など）	11億3,679万円	27億6,677万円
A 翌年度繰上充入金増減額	—	△5,393万円
B 当年度歳計現金（資金）増減額（1）+（2）+（3）	3億143万円	△2億2,129万円
C 期首歳計現金（資金）残高	5億60万円	68億1,948万円
D 期末歳計現金（資金）残高 A+B+C	8億203万円	65億4,426万円

のは病院事業88億8,221万円、下水道事業関連43億4,959万円、国民健康保険事業91億4,963万円など）となっています。

●経常収益

◆普通会計の経常収益合計は、井伊直弼と開国150年祭事業による城山観覧料の増収などにより、使用料・手数料が811万円増加（市民1人あたり51円増加）しました。

平成21年度 財政の健全化に関する指標を公表します

表1 健全化判断比率（％）

区分	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
算定数値	—	—	18.5	118.9
早期健全化基準	12.28	17.28	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

表1は彦根市の健全化判断比率を示し、表2は彦根市の公営企業などにおける資金不足比率を示しています。彦根市の今年度の算定数値は、いずれも基準以下となっています。

表2 公営企業などにおける資金不足比率（％）

区分	算定数値	経営健全化基準
下水道事業特別会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	
病院事業会計	6.8	
水道事業会計	—	

連結財務書類

4表を公表

彦根市では、財産と将来負担を適切に把握し、より分かりやすく財政状況が理解できるように、企業会計の手法を取り入れて、彦根市が現在までに取得した資産や負債、行政サービスに要した経費などを財務書類にまとめ、市政の実態をお知らせしています。

昨年度からは「総務省方式改定モデル」を用いて作成した4表を公表しています。このモデルは普通会計に加え、特別会計や、市と連携して行政サービスなどを実施している団体などを含めた連結財務書類です。

これからも、資産と債務の適切な管理に努め、さらなる行政のスリム化とコストの縮減を図っていきます。

※市民一人あたりの金額は、平成22年3月31日現在の住民基本台帳人口10万9,482人で算出しています。

連結の範囲について



※連結した一部事務組合・広域連合は9つあり、次のとおりです。彦根市犬上郡営林組合、彦根市米原市山林組合、彦根市米原市造林組合、大滝山林組合、滋賀県自治会館管理組合、彦根愛知犬上広域行政組合、滋賀県市町村職員研修センター、滋賀県市町村交通災害共済組合、滋賀県後期高齢者医療広域連合。

貸借対照表

行政活動によって作られた道路、建物や土地などの資産と、それに要した負債や財源との関係を表します

借方

項 目	普通会計	連 結
資産の部		
公共資産 施設や道路や公園の土地・建物などの有形固定資産と売却可能資産	1,377億5,603万円 125万8,252円	2,510億3,352万円 229万2,920円
投資等 土地開発公社への出資金、教育施設整備基金など	148億2,919万円 13万5,449円	73億6,065万円 6万7,232円
流動資産 現金や現金化が容易な財政調整基金など	19億9,978万円 1万8,266円	101億4,423万円 9万2,657円
資産合計	1,545億8,500万円 141万1,967円 基金として 49億9,468万円 4万5,621円	2,685億3,840万円 245万2,809円 基金として 56億1,836万円 5万1,318円

※各項目、上段が総額、下段が市民一人あたりの金額です

貸借対照表から分かったこと

●資産

◆普通会計の資産合計は、財政調整基金、減債基金の取り崩しなどにより、前年度から9億2,647万円の減少（市民1人あたり11,140円減少）

◆連結は、普通会計の約1.7倍で、その差額は1,139億5,340万円（主なもの、下水道事業関連691億340万円、病院事業169億8,109万円、水道事業268億7,520万円、土地開発公社37億3,794万円など）

◆貯金にあたる各種基金の合計は市民1人あたり、普通会計で4万5,621円となり、福祉・保健・医療基金の取り崩しなどの影響で、前年度から5,717円減少しました。

貸方

項 目	普通会計	連 結
負債の部		
負債 地方債の残高や退職手当引当金など	400億9,387万円 36万6,214円 地方債として 324億8,408万円 29万6,707円	1,245億7,231万円 113万7,834円 地方債および長期借入金として 1,088億7,311万円 99万4,438円
純資産の部		
純資産 資産から負債を除いた差額で、資産形成にあてられた国・県支出金および、一般財源などの累計額	1,144億9,113万円 104万5,753円	1,439億6,609万円 131万4,975円
負債・純資産合計	1,545億8,500万円 141万1,967円	2,685億3,840万円 245万2,809円

（平成22年3月31日現在）

●負債

◆普通会計の負債合計は、地方債の償還が進んだため前年度から28億3,993万円の減少（市民1人あたり2万6,679円減少）

◆連結は、普通会計の約3.1倍で、その差額は844億7,844万円（主なものは、下水道事業関連529億1,709万円、病院事業25億7,952万円、土地開発公社27億73万円など）

◆借金にあたる地方債残高の合計は、市民1人あたり、普通会計で29万6,707円となり、補償金免除繰上償還の実施などにより、前年度から2万1,713円減少しました。



施設だより

☎26-8601 FAX 26-8602
ひこね市文化プラザ 12月の休館日：6月、13月、20月、
 27月、29水～31金
 ※年始は1月4日(火)から開館します。

★★★ 注目のイベント ★★★

12月19日(日) 14:00～ グランドホール

第13回ひこね市民手づくり第九演奏会

今回の第九演奏会では、ベートーヴェンの第九に加え、オペラ歌劇『イーゴリ公』でも有名な「ダッタン人の踊り」を日本語で歌います。指揮に、井村誠貴氏のほか素晴らしい4人のソリストと彦根市民の力が集結した感動の演奏会にご期待ください。



自由 前売1,500円、当日2,000円 【チケット発売中】

平成23年1月9日(日) 15:00～ エコーホール

OEK♪ひこね クールジャパンコンサートepisode.1 オークストラ・アンサンブル金沢メンバーによる 「新春を彩るウィンナーワルツ」

石川県立音楽堂を本拠地とする、オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)とひこね市文化プラザの提携事業、クールジャパンコンサート第一弾。精鋭メンバーが集い、新春をウィンナーワルツで彩ります。

指定 一般3,000円、大学生以下1,500円 【チケット発売中】

12月12日(日) 15:00～ エコーホール

外山啓介 オール・ショパン・ピアノリサイタル

指定 一般3,000円、大学生以下1,500円 【チケット発売中】

12月26日(日) 14:00～ エコーホール

歴史手習塾年末スペシャル

「歴史学習を現代に活かす」

＜講師＞小和田哲男氏…NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」

時代考証

大石学氏…NHK大河ドラマ「龍馬伝」時代考証

屋敷陽太郎氏…NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」

制作統括

自由 一般1,000円、SP価格500円 【チケット発売中】

1月30日(日) 14:00～ グランドホール

Feel the music No.4 ロビーコンサート

「2台ピアノ de カンタービレ」

自由 一般500円、中学生以下無料 【チケット発売中】

3月4日金、11日金、18日金 19:00～ メッセホール

ひこね市民大学講座2010歴史手習塾セミナー6

「屏風・絵図で識る彦根戦国・江戸史！」

自由 一般3,000円 SP価格1,800円 【チケット発売中】

3月8日(火) 昼の部14:00～、夜の部18:30～ グランドホール

人形浄瑠璃 文楽

＜演目＞昼の部…仮名手本忠臣蔵、釣女

夜の部…曽根崎心中

一等席4,000円、二等席3,000円、三等席2,000円

指定 昼夜通し（一等席のみ）6,000円 [12月12日(日)発売]

※SP価格…スチューデント・パスポート価格（無料登録の学生会員価格）

チケットのお申し込み、お問い合わせは

チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)

インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

12月からの催し物

最新発売情報

☎22-6100 FAX 22-6520

彦根城博物館

12月の休館日：12月25日(土)～同31日(金)
 ※12月1日(水)～同2日(木)、同22日(水)～
 同24日(金)は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

開館時間 8:30～17:00（入館は16:30まで）

12月3日(金)～12月22日(水)

「井伊家歴代の刀剣」

井伊家には歴代藩主の腰を飾った刀剣が伝来しました。名刀「国宗」をはじめ、多様な魅力をもつ刀剣の数々を紹介します。



▲【重文】太刀銘国宗（伯耆） 井伊直亮所用

ギャラリートーク

「井伊家歴代の刀剣」

12月4日(土) 14:00～15:00

解説：本館学芸員 高木 文恵

※事前申し込みは不要です。当日、館内講堂にお集まりください。

観覧料が必要です

ほんものとの出会い

ー 常設展示の名品ー

常設展示「「ほんもの」との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

～12月21日(火)

せつちゅうときわ ず さ たけ えい かい ひつ

雪中常磐図 佐竹永海筆

平家の手を逃れるために雪道を都落ちする常磐御前と3人の子。幕末の彦根藩御用絵師・佐竹永海筆。



▲部分拡大

常設展示の名品

▼井伊直亮所用の拵（彦根城博物館蔵）



▲拵（裏）



▲拵（表）

大名道具の随一は刀剣です。名刀を収めて有事に備えることは武門として当然のことですが、刀剣は、將軍と大名、大名とその家臣の間で拝領、献上され、大名間でも贈答の対象となる、欠くことの出来ない重要な品でした。

洗練の極みー井伊直亮の刀剣と刀装具ー

大名道具の随一は刀剣です。名刀を収めて有事に備えることは武門として当然のことですが、刀

江戸時代の井伊家には、おびただしい数の刀剣が集積されていました。道具帳などから推定すると、江戸時代末には600口を下らない数の刀剣があったとみられます。

井伊家歴代は、当主となると所用の刀剣を決め、それを保護・装飾する刀装具、すなわち拵を新調しました。歴代の刀剣には通常、黒漆塗に家紋をほどこす式正の拵に加え、趣向を凝らした拵が調えられました。井伊家伝来の拵は特に、種々の変り塗りの漆技法を駆使した極めて質の高いものがまとまって伝来することから、高く評価されています。

ここでは、12代直亮（1794～1850）の刀剣に注目します。直亮所用の刀剣のひとつに、「国宗」と銘を切る太刀があります。国宗という、鎌倉時代に備前国（岡山県）で3代続いた三郎国宗が巷で知られたことから、江戸時代、この太刀は備前の三郎国宗と鑑定されました。現在は、それよりさらに古い鎌

倉時代初期の伯耆国（鳥取県）での制作と判断されています。

この太刀は現在、重要文化財に指定されてその価値が認められています。それに附属する拵もまた、傑出した出来映えを示すものです。

鞘に見る梅の花を散らしたような華やかな文様は、東南アジア産と言われる梅花皮絞という稀少な絞の皮を巻き、その上から漆を塗って研ぎ出してあらわしています。縁目貫、鐔などの金具も、極めて精巧な彫りで、波、魚、亀など、海に取材した意匠を採り入れ、拵全体を海のテーマで統一するという凝りようです。下緒を通す栗形と鞘の先の鐙には翡翠が嵌め込まれ、鮮やかな緑が全体のアクセントとなっています。

そして、刀がぐらつかないよう取り付ける鋲には、表は井伊家の家紋の橋をアレンジした透かし文様があしらわれ、裏には直亮が書いた「備前三郎国宗」の文字をもとにした刻銘が切られています。このことは、拵の制作に直亮自身が直接的に関わっていたことを示しています。

鞘袋には舶来の更紗の布が用いられています。更紗は、彼が熱心に収集した雅楽器の箱の包みとしてもよく利用されていることから、刀身そのものから拵、袋や箱等に至るまで、一式に直亮の好みが強く反映された可能性が高いと考えられます。

刀や拵に限らず、直亮は、歴代当主の中でも特に「もの」に寄せる意識が高い人物です。彼の好みの道具を概観すると、揺るぎない自信に基づいた、極めて洗練された美意識が浮かび上がってきます。

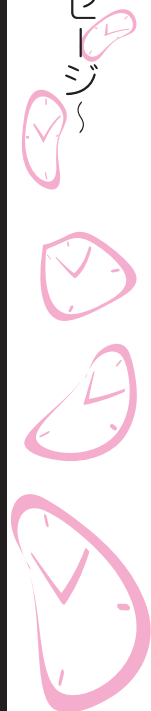
刀剣は、武家にとって重要な位置を占める道具であるからこそ、特にその持ち主の精神や感性が投影されやすいと言えるでしょう。今後、直亮に限らず、当主の人物像を「もの」から読み取り、明らかにしていきたいと思っています。

（彦根城博物館学芸員 高木文恵）

写真の作品は、テーマ展「井伊家歴代の刀剣」で12月3日(金)～22日(水)の期間、展示します。（期間中無休）

とまの玉手箱

博物館からのメッセージ



第172回

環境

低炭素社会の実現を目指します

湖東定住自立圏では、広域的な環境保全対策に取り組んでいます。

彦根市では、平成20年7月に「低炭素社会構築都市宣言」を行いました。この宣言に基づき、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化を防止するため、太陽光発電などの自然エネルギーやバイオディーゼル燃料の活用といった省エネルギー・省資源への取り組み

や、里山保全などの地域ぐるみで行う環境保全活動を推進しています。

今後は、湖東圏域内で連携し、更なる温室効果ガス排出量削減や森林などの保護などによる低炭素社会構築の活動を進めます。

また、低炭素社会構築の考え方を基にクリーンエネルギーの有効活用を目指し、「緑の分権改革推進事業」にも圏域での事業として取り組んでいます。

問い合わせ先 団生活環境課
☎30-6116番、FAX 27-0395番

緑の分権改革推進事業について

地域にある豊かな自然資源と、それにより生み出される食料やエネルギー、あるいは歴史文化資産の価値などを把握し、地域で最大限活用する仕組みづくりを進める事業です。

この仕組みを作り上げていくことで、エネルギーや産業の創出を行い、雇用の確保や定住を進め、湖東圏域において、優しく豊かな地域社会の実現を目指します。

今年度、圏域では下の表にある事業に取り組めます。

圏域で進める、良好な環境を守り育てるための具体的な取り組み

～緑の分権改革推進事業～

バイオマス資源の有効活用方法の検討

すでにごみ収集車燃料の一部を廃食油から精製したBDF（バイオディーゼル燃料）を使っていますが、BDFの更なる有効活用調査や、間伐材などの草木、食品廃棄物、生物由来の資源を、エネルギーや肥料として利用する方策について、調査研究を行っています。



▲市役所にある廃食油回収BOX

市民太陽光発電所の設置と仕組みづくり

市民から出資を求め、太陽光発電所を設置します。そのときに、運営のあり方について問題点を調査し、持続可能な制度になるかを検証します。

今回は、愛荘町のる一ぶる愛知川と市内で発電所の設置をします。

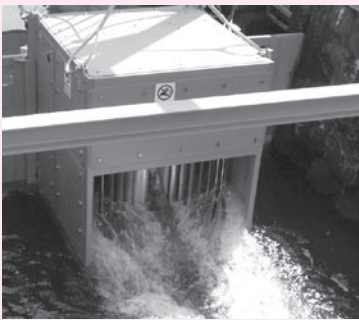
低炭素社会の実現のために市民発電所の設置や発電所への出資にご協力いただける、または関心がある人（団体を含む）は、団生活環境課までご連絡ください。



▲たんぼぼ作業所にある市民太陽光発電所

小水力発電の調査と利用可能性の検討

湖東圏域は、せせらぎや農業用水路など、水に恵まれています。この自然の恵みをいかした水力発電の可能性について、甲良町の親水公園や豊郷町の豊栄のさとなどで、実際に発電機を動かして調査し、街路灯や獣害用電気柵などの電力源としての活用を検討しています。



▲大分県日田（ひた）市で稼働する小水力発電

地域医療

地域医療再生計画と連携して、地域医療の充実を図ります

医療の分野については、滋賀県の「地域医療再生計画」と連携して進めています。

地域医療再生計画の実施については「湖東・湖北医療圏地域医療再生計画推進協議会」で協議されています。

10月22日(金)に同協議会で、回復期リハビリテーション病棟施設整備および救急医療体制の充実についての事業計画が承認されました。なお、整備費用は滋賀県地域医療再生基金を活用します。

回復期リハビリテーション病棟施設整備（豊郷病院）

湖東医療圏には回復期リハビリテーション病床がないため、急性期病院退院後の受け皿がなく、適切な回復期リハビリテーションが受けられず、入院期間が長期化するとともに、在宅療養への円滑な移行に支障をきたしている状況です。

患者中心の医療を実現し、病気が発症した急性期の治療を終えたのち、身体機能をで



▶回復期リハビリテーション病棟が新設される豊郷病院

救急医療体制の充実

「彦根市立病院」

市立病院では、年間600件余りの心臓カテーテル検査を実施しています。しかし、血管連続撮影室が1室しかなく、長時間を要する治療に使用している場合、この間の救急患者の受入れができない状況にあります。

湖東医療圏の唯一の公立病院として、二次救急だけでなく三次救急の一部も担う市立病院の救急患者の受入れを確実なものとするため、新たに血管連続撮影室の整備を行います。

事業内容 血管連続撮影室の整備

稼働予定 平成23年12月（予定）

基金活用額 5、000万円

問い合わせ先

回復期リハビリテーション病棟施設整備 団健康推進課

☎24-0816番、FAX 24-5870番

救急医療体制の充実 市立病院企画経営課☎22-6050番、FAX 26-0754番

コンピュータシステムの共同利用・共同開発

コンピュータシステムの共同利用や共同開発などに取り組みます

コンピュータシステム部会では、現在、各市町で使用しているコンピュータシステムや今後開発予定のシステムについて、経費の削減、事務の効率化などのため、共同利用や共同開発について取り組みます。

▼今年度の取り組み

圏域でのコンピュータシステムの共同利用や共同開発などに取り組むため、共同運用可能な業務および効率化が図れる業務などの現状把握と課題整理を行っています。

▼今後の取り組み

今後は、共同利用を行う業務やその運用方法など、具体的な検討を行っていきます。

そのあと、共同運用可能な業務から、順次システムの共同化を進めていきます。

問い合わせ先 団情報政策課
☎30-6104番、FAX 22-1398番

職員等の交流

職員の人材育成・職員交流の取り組み

彦根市と4町の職員が交流を深めるとともに、職員間の相互啓発を推進するため、今年度から一部の階層で合同研修を始めました。

その一環として、これまで彦根市が単独で実施してきた「政策形成能力養成研修」を合同研修として行っています。この研修は、6か月にわたる長期研修で、係長級職員を中心とした23人が4グループに分かれ、政策研究を重ねています。12月には湖東圏域の行政課題に対応した具体的な政策提言を行う発表会を開催する予定です。

また、11月には、これまで4町合同で実施していた管理職研修会に、彦根市職員も参加し、更なる管理能力の向上を図りました。

さらに、相互の先進的業務に関する技術や知識を習得するとともに、職員の人材育成を図るため、互いに職員の派遣や受入れを行う交流事業も順次取り組みを進めています。

問い合わせ先 団人事課
☎30-6106番、FAX 22-1398番

今年の受賞者をお知らせします

舟橋聖一 顕彰文学賞

舟橋聖一顕彰文学賞は、彦根市の名誉市民である作家・故舟橋聖一氏の功績をたたえとともに、広く青少年の文学奨励をはじめとした教育・文化の振興を図るために設けています。

18〜30歳の青年を対象とした第22回「青年文学賞」には全国から66編の応募があり、また、近畿各府県および滋賀県に隣接する各県の小・中・高校生を対象とした第25回「文学奨励賞」には、136編の応募がそれぞれありました。

選考の結果、今回の受賞作品が次のように決定され、授賞式が11月27日(土)に彦根ビューホテルで行われました。

問い合わせ先 市立図書館 ☎22-0649番 FAX26-0300番

文学奨励賞

小学生の部

第一席

『お父さんが生まれたふるさと』〈作文〉
山根久実さん(城西小学校5年)

第二席

『ぼくの弟』〈作文〉
香宮逸希さん(旭森小学校3年)

第三席

『かゆい夏休み』〈作文〉
新井鈴花さん(佐和小学校4年)

中学生の部

第一席

『自立への挑戦』〈紀行文〉
富江伸太郎さん(唐崎中学校2年)

第二席

『フラインドサッカー』〈作文〉
藤井佳乃さん(東中学校2年)

第三席

『彼女と過ごした時間』〈作文〉
若林奈織さん(西中学校3年)

高校生の部

第一席

『傷年』〈創作〉
堀田亜祐実さん(兵庫県立津名高等学校1年)

第二席

『月光』〈創作〉
田中祐季さん(河瀬高等学校2年)

第三席

『真意』〈創作〉
板谷崇央さん(彦根東高等学校2年)

最優秀賞

『ツール・ド・フランス』〈小説〉
富成東志さん(東京都練馬区在住)



佳作

『白い壁と、画家の妻』〈小説〉
松沢友実さん(埼玉県春日部市在住)



青年文学賞

受賞コメント

この度は由緒ある賞に私の作品を選んで頂き、関係者各位、及び選考委員の諸先生方に心より感謝致します。

それと誠に僣越ながら、本作品のタイトルの由来でもある、同名の楽曲を制作したドイツの偉大なアーティスト、クラフトワークに、この場を借りて感謝の意を表したいと思います。今回作品を評価して頂き

たことは、私の今まで培ってきたものが無駄ではなかったように思えて、素直に嬉しいです。しかし、賞を貰っても自身の何かが変わるわけではなく、優れた作品を作るという、根底にあるものはまったく変わりません。今回の受賞を一つの励みとして受け止め、今後も小説と真摯に向き合い、より質の高い作品を作り続けていく所存です。

受賞コメント

文学賞の応募でこういうものをいただいたのは初めてのことなので、とても嬉しいです。佳作の連絡のお電話をいただいたときは、本当に自分のことなのかと実感がすぐには湧いてこなくて、ふわふわと不思議な気持ちでした。小説を書いたり絵を描いたり、昔から何かを作ることが好きだったので、プロの方に直に作品を読んでいただき、自分

の好きなことで佳作がいただけとても幸せです。文章を書くということは不思議なもので、考えながら書いていても、自分で気づかなかつた自分の気持ちや言葉になって出てきたりするもので、そういうことも楽しみながら書いています。今回こうして佳作をいただけたことを励みに、もっとたくさん的小説を書き、精進していきたいと思っています。ありがとうございます。

第4回の受賞者をお知らせします

舟橋聖一文学賞

作品名 『天地明察』

著者 沖方 丁さん

舟橋聖一文学賞は、国宝・彦根城築城400年祭の開催を機に、彦根市の発展を図るために平成19年度に創設した賞です。文学の振興を通じて、市民が豊かな心を育み、香り高い文化を築くため、名誉市民である舟橋聖一の文学の世界に通じる優れた文芸作品に対し舟橋聖一文学賞を贈ります。

のような公募式でなく、基準日を設け、その基準日より前の1年間に新しく単行本として刊行された優れた小説を対象としています。「舟橋聖一文学賞」が「文学奨励賞」「青年文学賞」に応募する人の刺激となり、創作活動の目標・励みとなるように、また、広く地域文化の振興が図れるよう期待します。

沖方 丁さんプロフィール

1996年、早稲田大学在学中に『黒い季節』で角川スニーカー大賞を受賞しデビュー。以後コミック・アニメとの連動を先駆的に行い、マルチな活動を続ける。著作に『オイレンシュペーグル』『微睡みのセフィロト』『ばいばい、アース』などがある。2010年初の時代小説『天地明察』で第31回吉川英治文学新人賞、本屋大賞1位、第7回北東文芸賞を受賞。同書は直木賞にもノミネートされた。



撮影：江森康之

料金受取人払郵便
彦根支店承認
60
差出有効期限
平成23年6月
30日

5 2 2 8 7 9 0

彦根市元町4番2号

彦根市役所

企画振興部 まちづくり推進室

「市政への意見・提言」

係 行



やまおり

次のとおり封筒を作ってください

- ①キリトリ線（破線）に沿って切り、中央をやまおりにしてください。
- ②のりしろにのりをつけて貼り合わせてください。
- ③切手は貼らずにそのままポストへ投かんしてください。

送付方法

市政に対して考えているご意見を、左の封筒にお書きください。
記入後、封筒を切り取って、隅の「のりしろ」で貼り合わせてポストへ投かんしてください。切手は貼らずにそのままお出しください。

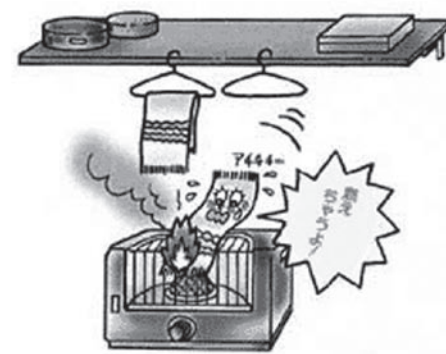


あなたの声を市政に 市政への意見・提言

彦根市では、市民の皆さんが健康で豊かな生活を送れるよう、さまざまな事業を進めています。この「市政への意見・提言」で、多くの皆さんの考えを聴くことで、市民と行政とのパートナーシップをさらに進めていきたいと考えています。市民の皆さんの建設的なご意見・ご提言をお待ちしています。また、「市政への意見・提言」は、彦根市ホームページからも投稿することができます。方法はトップページにある「市政への意見・提言」のリンクから入り、専用の入力フォームに意見などを入力して送信してください。

- ▶いただいた意見は、すべて市長が読んだ後、可能な限り担当部署から文書・電話などで回答します。
- 回答を希望される人は、必ず住所、氏名、電話番号を記入してください。
- ▶個人が特定できる情報を除き、概要を彦根市ホームページなどに掲載させていただく場合があります。
- ▶「市政への意見・提言」の専用封筒は年2回掲載しています。（次回は平成23年7月を予定）

問い合わせ先 囲まちづくり推進室 ☎30-6117、FAX22-1398、E-mail:machizukuri@ma.city.hikone.shiga.jp



石油ストーブなどの安全な取り扱い
本格的な冬の到来に備え、石油ストーブなどの暖房器具の手入れは万全でしょうか。
平成21年中におけるストーブによる火災をみると、全国で1、427件発生し、彦根市消防本部管内でも平成22年上半期に石油ストーブによる火災は3件発生しており、その火災により3人の負傷者が発生しています。
また、ストーブによる火災の主な原因は、可燃物の接触・落下、引火・放射熱、使用方法の誤り、消し忘れ、過熱、使用中の給油などとなっています。

- 使用に当たっての注意事項
○ストーブの近くに紙や衣類など燃えやすい物を置かないこと。
○ストーブの近くでヘアスプレーなどの引火の危険性があるものを使用しないこと。
○カーテンなどがストーブに接触しないように、それらのものから離して使用すること。
○ストーブの上方に洗濯物などを干さないこと。
○取扱説明書をよく読んで、正しい方法で使用する。

- 点検・点検・整備
○暖房シーズン前には、じゅうぶんな点検・整備を行い、故障している場合は販売店などに修理を依頼すること。
点検・点検・整備
○一定以上の振動を感じたり転倒した場合に、自動的に消火する耐震自動消火装置付のものを使用すること。
点検・点検・整備
○点検後は、炎の調整を行い、正常に燃焼していることを確認すること。
○就寝時、外出時には、必ず完全に消火を確認すること。

災害掲示板（彦根市消防本部管内）

平成22年1月～10月末までの件数		昨年同期	平成21年中
火災件数	62 件	38 件	47 件
救急件数	4,120 件	3,954 件	4,832 件
救助件数	42 件	41 件	50 件

備えましたか？
住宅用火災警報器

平成23年6月1日設置義務化スタート



ストーブには、燃えやすいものを近づけない。



- 危険物の保管
○灯油用の容器は金属製のもの、またはポリエチレン製で適合性の推奨ラベル、もしくは認定証が貼付されているものを使用すること。また、必ず栓をしっかり締めて密閉すること。
○保管場所は火気を使う場所から遠ざけ、直射日光を避けた冷暗所とすること。
○地震時に容器が転倒したり、落下物によって容器が破損したりしないようにすること。

消防だより



問い合わせ先 市消防本部予防課 ☎22-0332番、FAX22-9427番

みんなで築こう

人権の世紀

ー考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心ー

人権とは、人間が幸せに生きていく権利で、すべての人が生まれながらに持っている基本的な権利です。(彦根市人権尊重都市宣言から)

部落差別、男女差別、外国人差別、障害者差別など、あらゆる差別や偏見をなくし、みんなが明るく暮らせる社会をつくりましょう。そのためには、私たち一人ひとりが、人権について正しく理解し、周りの人の人権を尊重する意識を持つことがとても大切です。「人権週間」を機会に、家庭で、職

場で、学校で、地域で、家族と、友達と、みんなと、身近なことから人権について考えてみてください。今年の人権週間の強調事項は次のとおりです。

人権週間の強調事項

- ▽女性の人権を守ろう
- ▽子どもの人権を守ろう
- ▽高齢者を大切にすることを育てよう
- ▽障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- ▽部落差別をなくそう

- ▽アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ▽外国人の人権を尊重しよう
- ▽HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- ▽刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- ▽犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ▽インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- ▽ホームレスに対する偏見をなくそう
- ▽性的指向を理由とする差別をなくそう
- ▽性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- ▽北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ▽人身取引をなくそう
- ▽問い合わせ先 市人権政策課 ☎30-16115番、FAX 22-13998番

人権に関わる相談は
人権擁護委員へ

人権に関する問題で、相談する相手がなくて困ったという経験はありませんか。

そんなときには、人権擁護委員が相談に応じます。いじめや体罰、児童虐待などの子どもの人権問題や、配偶者・パートナーからの暴力などの女性の人権問題、部落差別をはじめあらゆる差別の問題、家庭内、職場内、隣近所での問題などについて相談を受け付けています。

市内の人権擁護委員は、次の皆さんです。

氏 名	住 所	電話番号
若 杉 一 夫 (わかすぎ かずお)	平田町845-1	23-3645
松 田 貞 夫 (まつだ さだお)	大藪町2014	23-4427
堤 博 子 (つつみ ひろこ)	船町5-20	23-7232
廣 野 政 三 (ひろの まさみつ)	芹橋二丁目9-9	23-0285
河 分 武 士 (かわけ たけし)	堀町311-1	28-1808
馬 場 世 紀 (ばば せいき)	高宮町1888	22-1963
深 井 恵 純 (ふかい えじゅん)	田附町838	43-3657
小 山 壽 子 (こやま じゅんこ)	鳥居本町1332-20	22-5072
桂 晃 照 (かつら こうしょう)	西今町609	22-4023
寺 崎 政 子 (てらさき まさこ)	野田山町580-41	23-1981
平 塚 文 子 (ひらつか ふみこ)	日夏町2058	28-1475
善 利 孝 子 (せり たかこ)	芹町12-21	22-3863

(12月1日現在、敬称略)

人権尊重と部落解放をめざす
県民のつどい無
参
料
加

日時 12月5日(日)
9:40～14:30

場所 県立文化産業交流会館(米原市)

オープニング 心をつなぐ

メッセージミニコンサート

(県立盲学校 音楽クラブ)

意見発表 「T君が教えてくれたこと」

石田和沙さん

(立命館守山中学校2年生)

地域からの発信

朝鮮文化を考える会「チング」

子どもの教育を考える会

「人権啓発創作劇」

記念講演 命を輝かせるために

向井亜紀さん(タレント)

内
容

ともに生きる

あたたかいまち

彦根を目指して

12月3日～9日は障害者週間です

市障害福祉課 ☎27-9981番、FAX 26-1767番

見えないハンディキャップ
～内部障害～

内部障害は、進行性の病気を伴っている場合があり、多くの人が体力低下や体調面での不安を抱え、また、通院や食事療法などで、人にはわからない苦勞があります。左の表は、内部障害の種類を示しています。

障害者週間は、障害のある人や障害福祉社についての関心や理解をいっそう深めるための週間です。障害に対する周囲の理解不足や無関心などのため、障害のある人が不利益を受けたり、じゅうぶんな支援を受けられなかったりすることがあります。だれもが快適に生活できる社会を実現するために、障害のある人について、この機会に考えてみましょう。今回は、内部障害を紹介します。

このマーク、わかりますか？



▲図1

図1は、車いす使用者用のトイレや駐車場など、障害のある人が利用できる建物や公共輸送機関であることを表します。

内部障害など、外見ではわかりにくい障害のある人の場合、「車いすでないのに？」と誤解されることがありますが、障害のある人すべてが対象です。内部障害のある人は、少しの運動でも身体に極度の負担がかかることもあります。



▲図2

図2は、「ハート・プラス」と言い、身体の内側に障害や疾患のあることを周囲に知らせるマークです。電車などでこのマークをつけている人を見かけたら、席を譲るなどの配慮が必要なおことがあります。



▲図3

図3は、オストメイト対応トイレであることを表します。オストメイトとは、人工ぼうこうや人工肛門のある人のことです。通常のトイレでは排泄処理が困難なため、外出に不安を感じる人もいます。



▲健闘を誓う田宮選手(左端)と西川選手(右端)

1回、国内大会と世界大会が開催されます。

活躍しましたスペシャルオリンピックスバスケットグループ3で優勝！
11月5日(金)～同7日(日)まで、大阪府内で開催された「スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム」に、市内の3選手が出場して好成績を収め、全国の仲間たちと交流を深めました。バスケットの西川和輝選手たちは、グループ3で見事、優勝しました。卓球の田宮寛人選手は、グループ3で5位に入賞しました。選手たちは、働き、学びながら、月1回、約50人の選手やボランティアと練習に励んでいます。※スペシャルオリンピックスは、いろいろなスポーツトレーニングや競技の場を知的発達障害のある人たちに提供する国際的なスポーツ組織で、4年に

1回、国内大会と世界大会が開催されます。

内部障害

【心臓機能障害】 動悸や息切れが起こることがある。体力が低下して疲れやすく、風邪も引きやすい。

【じん臓機能障害】 体力低下や体調の変動を伴うことが多く、風邪などに感染しやすい。定期的な人工透析のために通院する人もいる。

【呼吸器機能障害】 慢性的な呼吸困難、息切れなどがある。

【ぼうこう、または直腸機能障害】 排せつ機能の障害。人工肛門、人工ぼうこうがある人がいる。

【小腸機能障害】 消化吸収が困難で、食事制限があるか、もしくは食べることができない。

【ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能障害】 免疫機能が低下し、健康な人ではかかりにくい病気にもかかりやすい。

【肝臓機能障害】 肝炎ウイルスなどの病気で肝臓機能が低下し、強い疲労感を感じやすい。



行 事 名	日 時	場 所	内 容 ・ 問 い 合 わ せ 先 等
彦根市ミニ美術展覧会「人気作品展」	12月1日(水)～同12日(日) 9：00～17：00 12月6日(月)は休館	ひこね市文化プラザ ミニギャラリー	内 容：第59回彦根市美術展覧会期間中に鑑賞者アンケートを実施し、部門ごとに「好きな作品」投票を実施しました。各部門で第1位の作品を展示する彦根市ミニ美術展覧会を開催します。 ☎生涯学習課文化振興室☎23-7810、FAX21-3080
パッチワーク展	12月1日(水)～ 平成23年2月27日(日) 8：30～17：30	高宮駅コミュニティセンター ホール・ギャラリー	内 容：さまざまな布をつなぎ合わせて作成したタペストリーやバッグを約30点展示します。 ☎090-6242-3366（馬場）
彦根市ファミリー・サポート・センター活動報告会	12月4日(土) 10：00～11：30	☎男女共同参画センター「ウイズ」 （福祉保健センター前）	内 容：わらべうたで親子で楽しく遊ぶほか、活動状況や事例を紹介します。だれでも参加できます。 彦根市ファミリー・サポート・センター☎24-3920（FAX共用）
灯りと音と語りのこらぼ	12月5日(日) 13：30～14：30	市 立 図 書 館 ☎22-0649 FAX26-0300	内 容：暖かなロウソクの灯りの中でハンドベルの演奏と昔話の語りを聞きます。対象：4歳以上。申し込みは不要。 彦根の図書館を考える会
クリスマス工作のつどい	12月12日(日) 14：00～15：00		内 容：クリスマスにちなんだ工作をします。 対 象：4歳以上の子どもと保護者 定 員：30組。図書館窓口で電話で申し込み必要。（先着順） 持ち物：ハサミ・のり
おひざでだっこのおはなしかい	12月15日(水) 11：00～		内 容：幼児のためのおはなしかいです。絵本、わらべうた、手あそび 彦根の図書館を考える会
むかしばなしを聞くつどい	12月18日(土) 14：00～		内 容：昔話などを「語り」でします。 彦根おはなしを語る会
彦根市立病院糖尿病教室	12月10日(金) 13：30～16：30	市 立 病 院 3 階 講 堂	内 容：①糖尿病合併症自覚症状 出たときには重症化 腎不全になる前に②今日からできる糖尿病の食事のコツ～年末年始の対策③あなたの目は大丈夫!?えっ糖尿病って失明するの!?④運動のすすめ～始めよう第一歩、進めようもう一歩 市立病院外来1フロック☎22-6050（問い合わせは、月～金曜日の午後1時～同5時）
おもしろキャンドル教室	12月11日(土) 14：00～	ふれあいの館 ☎・FAX25-4452	内 容：クリスマスなどでともす、おもしろキャンドル作り 対 象：幼児（3歳以上）～小学生（幼児は保護者同伴） 定 員：15人（先着順）、材料費：1個350円
ウィズおやこ広場 ドリーム「わくわくらんど」がやってきた	12月11日(土) 10：00～11：30	☎男女共同参画センター「ウイズ」 （福祉保健センター前） ☎24-3529（FAX共用）	内 容：季節にあわせた、皆さんが参加できる遊びや歌あそびを行います。今回はクリスマス会です。 対 象：乳幼児と保護者。費用：おやつ代として一人50円が必要。
ひこね市民活動センター情報交換会	12月15日(水) ①18：00～19：00 ②19：00～21：00	ひこね市民活動センター （金 亀 町 ） ☎24-4461	内 容：①NPO、ボランティアに興味がある人への活動団体の紹介 ②さまざまな分野でNPO、ボランティアの活動をしている人の情報交換・交流会 参加費：300円と一品持ち寄り（食べ物、飲み物）
彦 根 朝 市	12月19日(日) 7：00～8：00	い ろ は 松 駐 車 場	販売品：新鮮な季節の野菜、卵、漬物など 販売者：彦根朝市組合 ☎農林水産課☎30-6118、FAX24-9676
精神障害者家族会「集まろう会」	12月20日(月) 14：00～16：00	障 害 者 福 祉 セ ン タ ー 2 階 集 団 指 導 室	内 容：精神障害者の家族同士が気軽に集まり、日々の情報交換や学習を行っています。今回は、「統合失調症の理解とその対応」というテーマで県立精神医療センターの柴崎守和先生を講師に招いて講演会を行います。 ☎障害福祉課☎27-9981、FAX26-1767
ひこね元気計画21ウォーキング歩き隊	12月21日(火) 13：30～15：00	高 宮 町 周 辺 （高宮地域文化センター）に集合	内 容：宿場町の風情が楽しめるコースです。雨天中止 ひこね元気計画21実行委員会事務局（☎健康推進課内） ☎24-0816、FAX24-5870（事前にお申し込みください）
新 成 人 の つ ど い	平成23年1月9日(日) 11：00～12：15	ひ こ ね 市 文 化 プ ラ ザ グ ラ ン ド ホ ー ル	内 容：受付10：00～、成人式典11：00～、祝賀記念交歓会11：30～ 対 象：平成2年4月2日～平成3年4月1日に生まれた人 ※対象になる人には、案内状を送ります。詳しくは、「広報ひこね」11月1日号16ページをご覧ください。 ☎教育委員会生涯学習課☎24-7971、FAX23-9190

※特に記載のないときは無料です。



グリーンピアひこね しめなわ作り教室

〈内容〉わらを使って、お正月に飾る手作りのしめなわ（玄関用のもの、従来型とリース型）を作ります。 〈日時〉12月27日(月) 9：30～11：30 〈場所〉グリーンピアひこね（清崎町）〈受講料〉200円 〈教材費〉従来型 300円、リース型 500円 〈定員〉30人（先着順）〈申込期限〉12月15日(水) 〈申込・問い合わせ先〉受講料と教材費を添えて、月～金曜日の8：30～17：00に、グリーンピアひこね☎ 25-3909、FAX25-3972の窓口

子どもセンター 星空教室

〈内容〉テーマ「冬はすばるから」 冬の夜空を観望します。 〈日時〉12月3日(金) 19：00～21：30（悪天候の場合は、予備日の12月4日(土)に開催 ※予備日も悪天候の場合は中止） 〈場所〉子どもセンター（日夏町） 〈対象〉天文に興味のある人 〈参加料〉1人 300円 〈申込・問い合わせ先〉直接、☎子どもセンター☎ 28-3645（FAX 共用）の窓口に集合してください。

子どもセンター ファミリークラフト リサイクルガラスで来年の干支かざりを作ろう！

〈内容〉リサイクルのガラスを使い、来年の干支であるウサギのガラス作品を作ります。 〈日時〉12月12日(日) 13：30～15：30 〈場所〉子どもセンター（日夏町） 〈対象〉小学生とその保護者 〈対象・定員〉15組（先着順） 〈参加費〉1組500円（1組1作品のみ） 〈持ち物〉はがき大のウサギの図案、持っていれば色つきのガラス瓶 〈申込開始日〉12月2日(木) 〈申込・問い合わせ先〉電話か、子どもセンター☎ 28-3645（FAX 共用）窓口。

彦根市場「日曜市」を開催

彦根総合地方卸売市場を皆さんに開放します。ぜひ、お越しください。当日利用できる商品券を先着200人にプレゼントします。
日時 12月12日(日) 9：00～12：00
場所 彦根総合地方卸売市場（安食中町）
内容 マグロの解体ショー、彦根海陸物産同業組合による地場野菜の特売、関連事業者による大売り出し、模擬店。
問い合わせ先 彦根総合地方卸売市場(株)
☎ 25-2518、FAX28-1718

エコマーケット「夢畑」を同時開催します

問い合わせ先 リサイクルステーション（銀座町）☎ 26-4810（FAX 共用）。受付時間 10：00～16：00、木・日曜日、祝日は休み

子育て講座 ～子どもとのかかわり方～

〈内容〉日ごろの子育てのことや子どもの育ち、かかわり方について話を聞きます。 〈日時〉12月17日(金) 10：00～11：30 〈場所〉子どもセンター 多目的室 〈対象〉0～3歳の子どもの保護者 〈定員〉25組（先着順） 〈参加費〉無料 〈持ち物〉筆記用具 〈応募期間〉12月3日(金)～同16日(木)の8：30～17：15 〈申込方法〉電話か、子どもセンター窓口へ。 〈申込・問い合わせ先〉☎子ども未来室☎ 28-1580（FAX 共用）

ウィズ多文化交流セミナー 魅惑チベット世界へようこそ！ 1日だけのチベット料理教室～

〈内容〉チベット研究の第1人者である棚瀬慈郎さんにチベット料理を教えていただき、料理を通して文化や生活習慣の違いを認識し、チベットへの理解や関心を深めます。 〈日時〉12月17日(金) 18：30～20：30 〈場所〉☎男女共同参画センター「ウイズ」 〈受講料〉500円。ただし、材料費700円が別途かかります。 〈持ち物〉ふきん2枚、エプロン、三角巾 〈申込期間〉12月1日(水)～同15日(水) 〈対象〉市内在住、在勤、在学の人 〈定員〉20人（先着順） 〈応募・問い合わせ先〉電話かファクス、Eメールで、☎男女共同参画センター「ウイズ」 ☎ 24-3529（FAX 共用）、Eメール：with.hikone@oboe.ocn.ne.jp

ミシガン州立大学連合日本センター 冬期英語プログラム

〈コース名・受講料〉テーマ別コース・夜間コース＝週2～4時間、44,000～80,000円 集中コース＝月～金曜日の1日2～4時間、140,000～265,000円 〈開講期間〉平成23年1月5日(水)～3月22日(火)（土・日曜日、祝日は休講） 〈場所〉ミシガン州立大学連合日本センター（松原町） 〈申込期限〉12月16日(木) 〈申込・問い合わせ先〉同センター☎ 26-3400、FAX24-9356

意見公募手続制度

結果のお知らせ

彦根市荒神山自然の家の設置および管理に関する条例（素案）について

意見の件数 4件（2人）
【内訳】
修正を行わなかったもの 3件
その他（参考意見） 1件
問い合わせ先 ☎（仮称）荒神山自然の家準備室☎ 30-6101、FAX22-1398

Brasilへようこそ！



第16回 夏のクリスマス

12月、ブラジルの学校は夏休みを迎えるシーズンです。期末試験などが終わり、授業も少なくなり、学校も静まります。

夏休みは2月の初めごろまでであり、思う存分遊べる時期でもあります。家族で海へ、山へと旅行する時期です。

クリスマスもあるので、遠くに両親がいる人は里帰り。クリスマスツリーの近くに飾られたテーブルには、丸ご

との七面鳥、レーズン入りのご飯、シャンパンなどが並べられ、家族同士でプレゼントを交換する風景、そして、ミサのために教会へ足を運び、祈る人の姿が見られます。もちろん、全員が同じようにご馳走を用意するわけでもありませんし、国民全部が祈りをささげるわけでもありません。しかし、クリスチャンが多いブラジルではクリスマスは家族が集まり、わかちあう時期なのです。

ブラジルのクリスマスのことを紹介するときに、「12月は夏です」というと『夏のクリスマス!?』と驚かれることもあります。

北半球に住んでいる皆さんには、真夏にサンタさんが町中に立っているのを見るのは、なかなか不思議な光景かもしれません。

【彦根市国際交流員 平田エジナ】



動く図書館

たちばな号

巡回日程【12月後半】 市立図書館 ☎22-0649 FAX26-0300

日・曜日	駐 車 場	時 間
14日(火)	清 崎 町 浄 宗 寺 亀 山 ニ ュ ー タ ウ ン 日夏ニュータウン第2期集会所前	13:30 14:20 15:10
15日(水)	開 出 今 營 原 神 社 蔵 の 町 団 地 中 央 開出今第2団地（市立病院前）	13:20 14:10 15:00
16日(木)	平 田 町 大 沢 高 岸 B 公 園 西 今 町 松 田 団 地 西 今 町 伊 庭 団 地 若 葉 小 学 校 東 門	11:00 13:20 14:10 15:00
17日(金)	稲 里 町 公 民 館 稲 枝 地 区 公 民 館 前 稲 枝 駅	13:30 14:20 15:10
18日(土)	千 鳥 ケ 丘 会 館 岡 町 東 光 寺 横 前 平 田 町 明 照 寺 前	13:15 14:00 14:50
21日(火)	大 藪 町 農 業 倉 庫 下 後 三 条 説 教 場 中 藪 一 丁 目 白 山 神 社	13:20 14:10 15:00
22日(水)	新 海 町 公 民 館 田 附 町 公 民 館 本 庄 町 公 民 館	13:30 14:20 15:10
24日(金)	普 光 寺 町（東ノ辻広場） 彦 富 町 公 民 館 金 沢 町 公 民 館 港 屋 駐 車 場 東	11:00 13:10 14:00 14:50

図書館休館日（12月後半）

20日(月)、23日(木祝)、27日(月)～31日(金)

し尿収集予定日 12月後半

彦根市事業公社 ☎23-4135

※臨時の収集については、早めにお申し込みください。（臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します。）

※収集の状況によって、収集日は3日程度前後することがありますが、ご了承ください。



13日(月) 鳥居本地区、西沼波(出屋敷)、東沼波、日夏、稲枝(西)、上石寺、下石寺、上岡部、下岡部、出路、田原、稲部(稲部)、金田、田附、服部

14日(火) 鳥居本地区、大堀、日夏、太堂、千尋、稲枝(西)、肥田(西肥田を除く)、上稲葉、下稲葉、本庄、普光寺、薩摩、金沢(金沢団地)

15日(水) 鳥居本地区、東沼波、日夏、大堀、楡、安食中、稲枝(東)、稲部(稲部東)、肥田(西肥田)、甲崎、野良田、新海、南三ツ谷

16日(木) 鳥居本地区、日夏、西沼波(本郷、住宅)、河瀬地区、稲部(稲部)、柳川、上西川、下西川、稲里、彦富(笹田団地)、稲部(稲部南)、肥田(西肥田)

17日(金) 鳥居本地区、錦(第2・3部)、河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目

20日(月) 鳥居本地区、高宮地区、河瀬地区

21日(火) 古沢、松原(四ツ川を除く)、高宮地区、河瀬地区

22日(水) 高宮地区、河瀬地区

23日(木祝) 高宮地区、河瀬地区

24日(金) 高宮地区、河瀬地区

27日(月) 河瀬地区

28日(火) 幸、松原一丁目、松原二丁目、松原（四ツ川）、野田山、正法寺、地藏、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、銀座、中央（第1・4部）、芹橋一丁目、芹橋二丁目（河原二丁目一部を含む）、西今、平田(大沢)、三津

29日(水) 幸、芹、安清、外、里根、野田山、正法寺、地藏、西今、野瀬、海瀬、三津屋

30日(木) 里根、幸、外、城町一丁目、栄町一丁目、池州、八坂北、八坂、開出今団地（第1・3部）、西今、宇尾、須越

相 談

※特に記載のないとき、相談料は無料です。

相 談 名	日 時	場 所	内 容 ・ 問 い 合 わ せ 先 等
若 年 者 就 労 相 談	12月10日(金)・同24日(金) 13:00～15:30	ひ こ ね 燦 ば れ す ☎26-7272 FAX26-7377	キャリアコンサルタントによる就職相談。適性検査・面接指導をはじめ、職種や職業紹介まで個別指導します。自信を回復して就職に取り組み、自立した生活を目指します。
行政書士無料相談会 相 続 手 続 相 談	12月10日(金) 13:00～15:00	団 ま ち づ くり 推 進 室 ☎30-6117、FAX22-1398	相続に関する手続き（遺言書の作成、遺産分割に関することなど）の相談に応じます。
人 権 な ん で も 相 談	12月15日(水) 13:00～15:00	相 談 室 （市役所1階）	いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談に応じます。 団 人権政策課☎30-6115、FAX22-1398
障 害 者 相 談	12月15日(水) 13:30～15:30	障 害 者 福 祉 セ ン タ ー	滋賀県身体障害者・知的障害者相談員による、障害のある人の自立や社会参加などに関する相談に応じます。 団 障害福祉課☎27-9981、FAX26-1767
登 記 相 談 表 示 登 記	12月17日(金) 13:00～16:00	団 ま ち づ くり 推 進 室 ☎30-6117、FAX22-1398	相続・売買登記、土地の分筆・合筆、建物登記などの相談に応じます。電話による予約制（受付は、12月8日(水) 8:30から先着6人）
生 活 相 談	12月21日(火) 13:00～17:00	相 談 室 （市役所1階）	公営住宅、貸付制度、生活保護など、生活に関する相談に応じます。ポルトガル語、スペイン語、中国語でも相談に応じます。滋賀県求職者総合支援センター☎077-521-5421
行政相談委員会による 行 政 相 談	12月14日(火) 13:00～15:00	稲 枝 支 所	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談に応じます。 団 まちづくり推進室☎30-6117、FAX22-1398
こ ころ の 健 康 相 談	12月24日(金) 13:30～16:30	彦 根 保 健 所 ☎22-1770 FAX26-7540	心の健康に不安を持つ本人や家族から、困っていることや生活のようすなどを聞き、必要に応じて医学的指導、医療機関や施設の紹介などをします。（予約制）
滋賀弁護士会 法 律 相 談	12月24日(金) 13:00～16:00	団 ま ち づ くり 推 進 室 ☎30-6117、FAX22-1398	電話による予約制（受付は、12月15日(水) 8:30から先着6人） 相談料：1回(30分) 5,250円（相談日にお支払いください） ※市内在住者に限定
日 曜 納 税 相 談	12月26日(日) 10:00～16:00	団 納 税 課 ☎30-6109	毎月1回、日曜納税相談窓口を設けて、市税の納付についての相談に応じます。
多 重 債 務 者 会 無 料 相 談 会	平成23年1月8日(土) 10:00～13:00	團 消 費 生 活 セ ン タ ー （元 町）	弁護士・司法書士が相談に応じます。（1件1時間） 電話による予約制。先着6人 團 県民生活課☎077-528-3412
男女共同参画ウィズ相談室 総 合 相 談	毎週水・木・金曜日 13:00～16:00	団男女共同参画センター「ウィズ」 （福祉保健センター前） 相談専用ダイヤル ☎21-5757	女性、男性を問わず、心の悩み、夫婦・家族関係、職場の人間関係（セクハラなど）、子どもに関することなど、さまざまな相談に応じます。
男女共同参画ウィズ相談室 専 門 相 談	法律相談 毎月第3月曜日午後 こころの悩み相談 毎月第1金曜日午後		専門相談は、総合相談を受けたあとで、必要な人のみ予約できます。 「法律相談」では弁護士が、「こころの悩み相談」では、臨床心理士が相談に応じます。
子どもと親の悩みの 相 談 電 話	毎週月・水曜日(祝日は除く) 14:00～17:00	団 教 育 研 究 所 ☎23-7867	悩みを抱える子どもからの相談、子育てで悩んでいる保護者や家族からの相談に応じます。（電話相談）
よ ろ ず 相 談	毎週水・金曜日(祝日は除く) 13:00～16:00	福 祉 保 健 セ ン タ ー 別 館 2 階 相 談 室	仕事のこと、家族のこと、地域のことなど、困りごとよろず相談に応じます。 彦根市社会福祉協議会☎22-2821、FAX22-2841

年末の交通安全県民運動

年末は、飲酒運転などの悪質・危険運転が増加しがちです。

「近くだから」「少しの量だから」と甘い考えを持たず、お酒を口にしたら、自動車や自転車などの運転は、絶対にやめましょう。

また、お酒を飲んだ人には、運転をさせないようにしましょう。

問い合わせ先 団交通対策課☎30-6134、FAX24-8517

運動の重点

- 交差点における出合頭事故の防止 ～交差点では、「止まる・見る・待つ」のゆとりを持って～
- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止 ～前照灯早め点灯と反射材の活用～
- 飲酒運転の根絶 ～飲酒運転をしない・させない・許さない～
- 高齢者の交通事故防止 ～高齢者に対する交通安全教育と、思いやり運転の励行～

12月1日(水)～12月31日(金)

12月24日は
「飲酒運転について
考える日」です





健康だより

健康推進課
(平田町・福祉保健センター1階)
☎24-0816
FAX24-5870
電話番号は、おかけ間違いのないようにご注意ください。



予防接種

ーBCG接種ー

対象

接種当日満3か月以上満6か月未満児

日程・対象

実施日	対 象
平成23年 1月12日(水)	・平成22年9月28日～ 10月12日の出生児 ・上記以前の6か月未満 児で未接種児
平成23年 1月31日(月)	・平成22年10月13日～ 同31日の出生児 ・上記以前の6か月未満 児で未接種児

受付時間 13:10～14:10

場所 福祉保健センター

持ち物 母子健康手帳、予診票

※定期BCG予防接種は、原則として、満3

か月以上満6か月未満児が対象です。

満6か月以上で定期BCG予防接種が受けられなかった人は、任意接種（有料）になりますのでご注意ください。

ただし、基礎疾患があり、主治医から、生後6か月までに集団接種ができにくいと言われている人は、早めに健康推進課にご相談ください。

※平成22年10月生まれのお子さんには、12月末までに、「予防接種のつづり」「すくすく手帳（乳幼児健診のつづり）」をお届けします。

母子保健

ハローベビー教室

●1月のコース（お産や育児・交流会）

日時 平成23年1月17日(月)

13:30～15:30

（受付は13:15～13:30）

場所 福祉保健センター別館2階

対象 妊娠28週以降の人

持ち物 母子健康手帳

※申込みは、不要です。



献 血

ー成分献血ー

成分献血は、血しょうや血小板といった特定の成分だけを採取し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法です。そのため体への負担が軽く、多くの血しょうや血小板を献血していただくことができます。

日時 平成23年1月13日(木)

10:00、11:00、13:00、14:00、

15:00 （各4人ずつ、計20人）

場所 福祉保健センター

※予約制です。12月28日(火)までに健康推進課に申し込んでください。

※40歳以上の人は、成分献血の経験があり、1年以内に心電図検査を受けていることが必要です。

らくらく禁煙相談

肺の汚れとたばこへの依存度を調べてみませんか。

日時 平成23年1月12日(水)

9:00～、10:00～、11:00～

場所 福祉保健センター

定員 6人（予約制）

内容

●たばこの検査

・肺の汚れ度チェック

（呼気中の一酸化炭素の濃度測定）

・たばこの依存度チェック

（尿中ニコチン濃度検査）

●たばこの上手なやめ方のアドバイス

ひろげるな インフルエンザ ひろげよう せきエチケット

インフルエンザが流行する季節がやってきました。インフルエンザは、乳幼児や高齢者がかかると重症になる場合もあります。マスクをせずに、せきやくしゃみをすると、ウイルスが2m程度飛ぶと言われていいます。インフルエンザを予防するために「せきエチケット」を始めましょう。

「せきエチケット」とは？

- ◆せき・くしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔を背けましょう。
- ◆使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆症状のある人はマスクを正しく着用し、周囲への感染防止に努めましょう。

そのほか、インフルエンザ予防のためできること

- 外出後のうがいや手洗いを日常的にしましょう。
- じゅうぶんに休養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理に努めましょう。
- ワクチン接種を希望する場合は、近くの医療機関にご相談ください。すべての年齢の人に新型インフルエンザを含んだ3つの株（新型、A香港型、B型）のワクチンを接種します。



＜ 広 告 欄 ＞

クレジット・サラ金・過払請求
借金のお悩み
解決します

こんなことで
悩んでいませんか？

- ・誰にも相談できず
夜も眠れない
- ・借金が不安で仕事
も手につかない
- ・返しても返しても少し
も借金が減らない
- ・完済しているのもある
んだけど借金を整理
してもう一度出直したい

勇気を出してご相談ください!!

相談無料 秘密厳守 分割払可能

あい湖司法書士事務所

通話料 無料 ☎0120-001-694

077-565-3180

JR草津駅徒歩5分 司法書士/飛渡あい子

草津市渋川1丁目9番41号 司法書士/飛渡 貴之

受付時間 月～土 9時から19時

(日・祝・夜間の相談にも応じます。要予約)

豊かなシニアライフを提案します。

『介護施設付分譲マンション』
O・Hプラザ アウル
「近江八幡」駅前2分の利便性と24時間の安心をご提供
クリニックとデイサービスセンターが入居(予定)
24時間専任スタッフ常駐 オール電化

現地モデルルームオープン
お問い合わせは「O・Hプラザ アウル」販売センター
☎0120-87-2960
■営業時間／AM.10:00～PM.6:00 ■定休日／水曜日
携帯電話からもご利用いただけます。

事業主(売主) 近江ハウジング株式会社 販売提携(復代理) OX 株式会社 オックス 施工 奥村組 西日本支社 介護事業主 アヤハコミュニケーションサービス

■建築概要●名称／O・Hプラザ アウル●所在地／滋賀県近江八幡市鷹飼町1485-1●交通／JR東海道本線(琵琶湖線)「近江八幡」駅 徒歩2分●敷地面積／678.83㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造、地上12階、地下1階●販売戸数／住戸54戸●販売価格(税込)／1,580万円～4,220万円●最多販売価格帯(税込)／1,600万円台(8戸)●住居専有面積／35.91㎡～84.42㎡●建築確認番号／第H21確認建築IPECO1549号(平成22年3月29日)●分譲後の権利形態／敷地及び建物共用部分は住居専有専有部分比率による所有権の共有、建物専有部分は区分所有●管理形態／区分所有者全員により管理組合を組成し、管理会社に委託●竣工予定／平成23年5月末日●入居予定／平成23年6月中旬●販売提携(代理)／近江ハウジング土地開発株式会社

ガスを安全にご利用いただくために **ウイズガス**

屋外に設置されて
いるガス機器は囲
まないでください。

屋外設置用の機器は、波板やシートなどで、絶対に囲まないでください。機器を囲むことで新鮮な空気が不足し、ガスの不完全燃焼から一酸化炭素発生の原因となります。中毒症状や、死亡事故に至る恐れがございます。



Design Your Energy 無料お見積り お客様センター
大阪ガス ☎0120-8-94817

相続・遺言 無料個別相談
受付中! (要予約)

お問い合わせ・ご予約は
☎FREE 0120-630-649
受付時間:平日9:00～18:00(土・祝日・平日夜間も相談可 要予約)

**相続調査・遺産分割
名義変更・相続放棄・生前贈与**

●戸籍収集は大変なので依頼したい!
●相続した財産の名義変更したい!
●借金は絶対に放棄したい!
●トラブルの防止に遺言を書きたい!
●相続税対策に贈与をしておきたい!

お気軽にご相談下さい!

おうみ@法務事務所
(滋賀彦根相続遺言センター併設)
司法書士松田勇夫 行政書士中辻摩耶
彦根市大東町2番38号SISビル西館301
☎0749-21-4388
彦根駅 徒歩2分(アルプラザ東側出口前)

詳しくはHPへ
滋賀彦根相続遺言センター 検索

あなたの夢が拓きます

放送大学

4月入学生募集

出願期間

平成22年11月15日～平成23年2月28日

- 入学試験はありません。
- 大学卒業資格が取得できます。
- 自宅で学べます。
- 一科目だけでも学べます。

★出願書は無料でお送りします。
気軽にお電話ください。

放送大学 滋賀学習センター
TEL.077-545-0362

〒520-2123 大津市瀬田大江町横谷1-5
(龍谷大学瀬田キャンパス内)

この「広報ひこね」は48,400部作成し、1部当たりの単価は10円(1円未満切り捨て)です。
ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

住民基本台帳カード 交付手数料が無料です

住民基本台帳カードについて

▼彦根市に住民登録のある人は、申請すると住民基本台帳カードの交付が受けられます。

▼種類は、写真付きと写真なしの2種類があります。

▼写真付きの住民基本台帳カードは、運転免許証やパスポートなどと同じように、公的な身分証明書(本人確認書類)として利用できます。

▼住民基本台帳カードに公的個人認証による電子証明書(手数料500円)を設定すると、所得税の確定申告などに利用できます。

●**無料交付期間** 平成23年3月31日(木)まで
※ただし、紛失などによる再交



▲住民基本台帳カード (見本)

付は手数料500円が必要で
す。

●**申請受付日時** 月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分(木曜日のみ午後6時30分まで。祝日・年末年始を除く)

※電子証明書の発行が必要な場合は、午後4時30分までにお越しください。

●申請には、本人確認ができるもの(最新の住所記載の運転免許証、パスポートなど官公署が発行した顔写真付きの公的証明書で有効期限内のもの)と、写真付きを希望する場合は6か月以内に撮影した証明書用写真(縦4・5cm×横3・5cm、正面・無帽・無背景、カラー・白黒どちらでも可)を1枚持参してください。

●本人確認ができない場合、または、代理人に手続きを依頼する場合は、本人あてに照会文書を郵送して本人の意思確認を行いますので、即日交付はできません。

●写真付きを希望する場合は、申請時またはカード受領時に必ず本人が窓口にお越しください。

問い合わせ先 両市民課
☎30・6111番、FAX21・2220番

清掃センターからのお知らせ 年末のごみ等収集と直接搬入について

年末のごみ収集について

年末のごみ等収集は、土・日曜日を除き12月30日(木)まで行います。詳細については「ごみ等の収集カレンダー」をご覧ください。

年末の搬入は混雑します

年末の清掃センターへの直接搬入は、大変混雑します。家庭から出る「燃やすごみ、容器包装プラスチック、缶・金属類、びん類」は地域の集積所に出してください。また、粗大ごみについても、できるだけ早い時期に搬入してください。

※清掃センターに搬入するときは、必ず事前に分別を徹底してから搬入してください。

※ごみ等搬入口は「ひこね市文化プラザ前の市道沿い」に変更しています。犬上川堤防道路からは進入できません。ご注意ください。

※事故防止のため、必ず係員の誘導に従い、経路を守って搬入してください。

※「埋立ごみ」の直接搬入は、中山投棄場で行います。必ず事前に清掃センター、両生活環境課、支所、各出張所で許可証の発行を受け、投棄場に搬入してください。

問い合わせ先 両清掃センター ☎22・2734番、FAX24・7787番

表紙の写真

11月19日付けで、文化庁文化審議会より答申があり、荒神山にある「荒神山古墳」が国の史跡に指定されることになりました。

今回の「荒神山古墳」は、県下で2番目の規模をほこる、古墳時代前期末の前方後円墳です。

また、彦根市にとって3件目の国史跡となり、彦根市南部地域では初めてとなります。詳しいことは、広報ひこね12月15日号でお知らせします。



人口と世帯数

平成22年11月1日現在

人口	111,856人	(+ 57)
男	55,126人	(+ 19)
女	56,730人	(+ 38)
世帯数	43,359世帯	(+ 43)

() 内は前月との比較



「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用し、印刷は有害な廃物を排出しない水なし印刷を採用しています。廃棄する場合には古紙回収に出してください。